

発祥の地・和歌山に集う!

国際・第38回 全日本マスターズ陸上競技選手権大会

2017.10.2 和歌山新報

10月27日〜29日・紀三井寺公園陸上競技場

国際・第38回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が、10月27日から29日まで、紀三井寺公園陸上競技場で開催される。マスターズ陸上発祥の地「和歌山市」を舞台としたビッグイベントには約2000人のベテランアスリートが集う他、競技会前日の26日には、元五輪選手でスポーツジャーナリストとして幅広く活躍する増田明美氏らをパネラーに迎え、「生涯スポーツの果たす役割」をテーマにした記念シンポジウムが、ホテル・アパローム紀の国で開かれる。2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年のワールドマスターズゲームズ(関西一円)に、先駆けた生涯スポーツの祭典が古里和歌山を彩る。



室伏重信氏



君原健二氏



鴻池清司会長



増田明美氏

「生涯スポーツの果たす役割」

増田さんら迎え記念シンポジウム

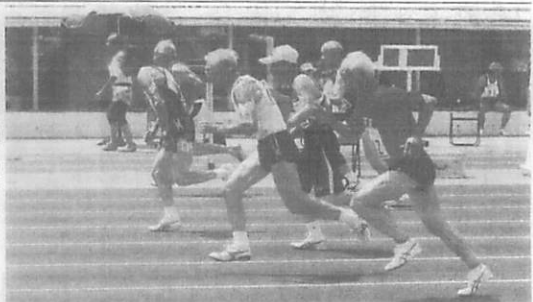
日本におけるマスターズ陸上の歴史は、日本マスターズ陸上競技連盟の現会長・鴻池清司氏らが、ヨーロッパで催された世界マスターズ選手権に出場したのをきっかけに、日本でも結成の機運が高まり、アムステルダム五輪メダリスト

トの織田幹雄氏が初代会長に就任、1980年に同連合が和歌山市に設立された。

和歌山市での全国規模の大会は、2011年の第32回全日本競技選手権以来で、今回は国内だけでなく海外からの選手も多く参加する。参加申し込みは10月までで、ただ今エントリー受付中。

10月26日、ホテルアパローム紀の国で行われる記念シンポジウムは「生涯スポーツの果たす役割」をテーマとし、メキシコ五輪マラソン銀メダリストの君原健二氏をはじめ、ハンマー投げで五輪大会連続出場、日本選手権10連覇のアジア大会5連覇の鉄人・室伏重信氏、ロサンゼルス五輪女子マラソン代表で、スポーツジャーナリスト、NHK朝の連ドラ「ひよっこ」でナレーターも務める増田

明美氏、現会長だがパネラーを務め選手としても現役。「気軽に楽しめる。一歩を和歌山から踏み出す。」



ベテランアスリートの健闘が楽しみ(2011年)

河西が4戦全勝

和歌山市中学校総体ソフトボール

和歌山市中学校総体ソフトボールの部は、このほど河内が4戦全勝。河西が4戦全勝。河西が4戦全勝。河西が4戦全勝。

女子団体は和東3位

第55回近畿高校剣道大会が、奈良・な健康した。同個人部でも山本里奈(和東)が3位に入賞した。他の県勢も立

和歌山新報